

だいじょうぶ！



立春を過ぎて暦の上では春ですが、まだまだ寒さが続きそうですね。
先週まで学級閉鎖が続いていた中根小学校ですが、今週はインフルエンザが減少しています。2月12日（木）現在、インフルエンザによるお休みは全校で4名、風邪や発熱などによる欠席は14名程です。

全国的なデータでも1月中旬から下旬にかけて流行のピークを迎えて、先週からは急激な減少傾向がみられます。しかし、まだまだ油断大敵！

例年インフルエンザA型が下火になる頃にB型が流行します。A型ほどの大きな流行はありませんがA型に罹った子どもがB型にも罹ってしまうことがよくあります。恐らく、快復している途中で免疫力が落ちている時期なので再び感染しやすいのでしょう。

「手洗い」は予防にかなり有効だと思います。保健室でも養護教諭2人はかなりこまめに手洗いをしています。その効果あってか今のところ2人とも風邪知らずです。ぜひ、家族みんなで「6つのパーツ」を洗う習慣をつけてください（イラスト参照）。1～3年生は「きらきら星の歌☆」に合わせて洗っています♪



そうだったのか！
タバコを知ってタバコをやめよう...

～薬物乱用防止教室を開きました～ 1月27日 6年生対象

「無煙世代を育てる会」の平間 敬文先生（医師）をお招きしての1時間、「タバコに触れない青少年を育てていきたい！」という熱いメッセージが伝わってくるお話を聴くことができました。

日本人のタバコに対する意識や子どもたちへの配慮は、他の諸外国に比べてかなり遅れている事実に驚きました。例えば、映画「ワンピース」に登場するサンジは、日本ではタバコをくわえて登場しますが、外国ではタバコがアメ（チュッパチャップスのような飴）に変えられていました。海外では喫煙場面のあるアニメは輸入できないそうです。

今回、タバコが薬物であることを初めて知った子どもが沢山いました。これからの時代の意識を変えていく一人になって欲しいと願っています。



裏面に子どもたちの感想を載せています。どうぞご覧ください

*** 6年生の感想より***

たばこは薬物と言っていたけれど、よく考えると一度やったら止められないというところが同じだなと思った。たばこを勧められても断って、たばこをやっている人に止めさせてあげたいと思った。日本はたばこについてとても遅れているなと感じた。

お父さんがすごい量のたばこを家の中で吸っていて、ダメだと思うので絶対にやめさせようと思います。

タバコが薬物の中で3番目に強い薬物だと言うことをはじめて知った。なぜ大人たちはタバコを吸うのをやめられないのだろうと思っていたが、それが薬物中毒の一つだとは思わなかった。



子どもたちが将来危険な目にあわないように考えてくれたのが嬉しかった。

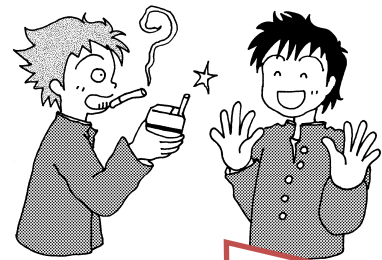
お父さんが吸っているの、今日のことをぜひ話したいです。肺がんやその他の病気にかかりやすくなるのは知っていたけど、予想以上にすごかった。

ぼくは長生きしたいのでタバコは吸いません。タバコのコマーシャルで嘘みたいなことを書いてあるのが強いと思いました。

★初めて知ったこと★

- たばこを吸っている人の半分以上が70歳で死んでしまうこと。
- 肺が溶けてしまうこと。
- 女性は早く老けてしまうこと。
- 3番目に危ない薬物だということ。

(①ヘロイン ②コカイン ③ニコチン)



タバコは子どもにも影響すると知って、お父さんが私が生まれる前に禁煙してくれて良かったと思った。私も絶対吸いたくない。

ぼくは大人になってもタバコを絶対に吸いたくないと思った。日本はタバコが大好きだと知って、外国との差がすごいと感じた。自分も身の回りに気をつけて、タバコの煙を吸わないように気をつけようと実感した。

私の父が昔からタバコを吸っていたので、「やめて」と言いました。その時はガンになりやすくなるくらいしか知らなかったけど、もっとたくさんの害があったなんてびっくりしました。

私の身近にはタバコを吸っている人がいないし、吸っていても禁煙に成功した人なので、よく分からなかったけど、タバコは身近な薬物だと知って驚いた。